

2006年11月30日

2007年3月期中間決算説明会



(東証マザーズ 証券コード: 4566)

Life science & Transfer Technology

組織図

11月1日現在

(平成18年11月1日現在)

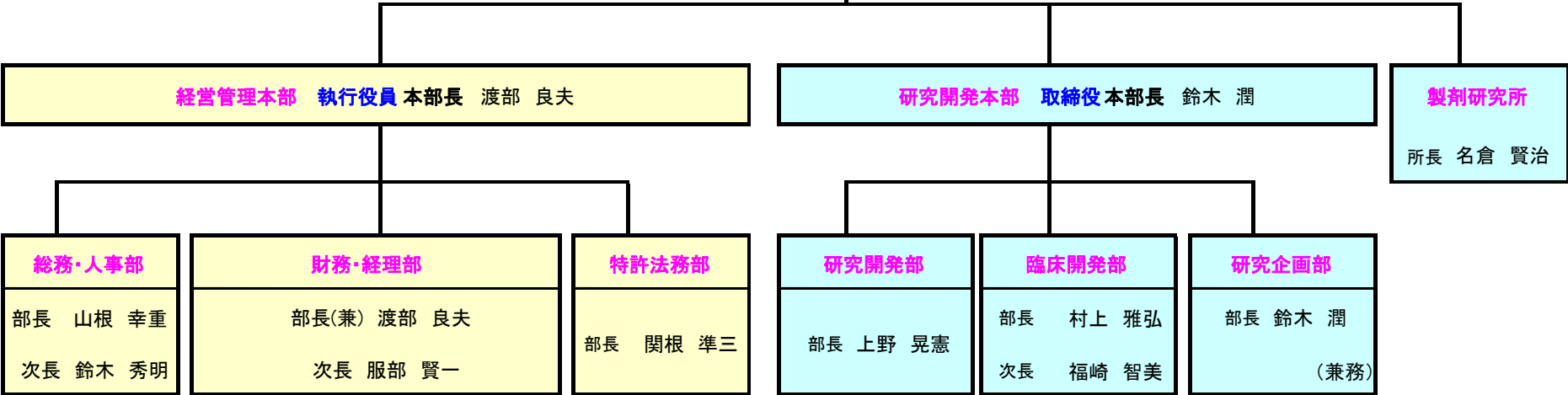
非常勤取締役 西山 利巳
 非常勤取締役 榊原 節子

取締役会

代表取締役 CEO/COO
 会長兼社長 水島 裕

監査役会	
常勤	河内 康平
非常勤	石本 祐男
非常勤	石山 和次郎

(囑託) 監査室長 小野 章二





I . 2007年3月期中間決算実績 並びに当期計画



中間決算説明会のポイント

- ◆ 創薬事業におきましては、主要製品であるリポPGE1製剤(リプル・パルクス)のロイヤリティ、ナノチノイド製剤のロイヤリティ及び受託研究に係る売上が計上され、当中間連結会計期間の売上は、102百万円となりました。
また、調剤薬局部門の売上は525百万円となりました。
- ◆ 以上の結果、当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高 628百万円、営業損失 576百万円、経常損失 501百万円、中間純損失 471百万円となりました。
- ◆ 07/3期(計画)は、リポPGE1製剤(パルクス、リプル等)やナノチノイド製剤(ロート製薬株式会社から化粧品として発売されたオバジパーフェクトリフトAA)からのロイヤリティ収入を、また研究開発のパイプラインからは、現在前期第Ⅱ相臨床試験で有効性が確認された潰瘍性大腸炎に対するPC-SODの導出契約一時金を見込んでおります。
- ◆ AS-013 米国での第Ⅲ相臨床試験は、期待される結果が得られなかった。今後は追加試験(後期第Ⅱ相臨床試験、P2b)を、東欧を拠点に自社で実施する準備を開始しました。
- ◆ 当社の中期的経営戦略は、(1) 現有パイプラインの開発推進(6つのプロジェクト)、(2) 新規パイプラインの立ち上げ、(3) 研究開発の機能強化、(4) 新規事業の4点であります。

1-(1) 07/3期中間決算実績

(百万円)

単体					
	06/3期 中期実績	07/3期 中間計画	07/3期中間実績		
	金額	金額	金額	前期対比 (増減額)	計画対比 (増減額)
売上高	148	142	102	▲ 46	▲ 40
営業利益	▲ 204	-	▲ 568	▲ 364	-
経常利益	▲ 205	▲ 188	▲ 331	▲ 126	▲ 143
中間純利益	▲ 195	▲ 188	▲ 358	▲ 163	▲ 170
研究開発費	220	424	464	244	40

連結					
	06/3期 中期実績	07/3期 中間計画	07/3期中間実績		
	金額	金額	金額	前期対比 (増減額)	計画対比 (増減額)
売上高	-	660	628	-	▲ 32
営業利益	-	-	▲ 576	-	-
経常利益	-	▲ 306	▲ 501	-	▲ 195
中間純利益	-	▲ 306	▲ 471	-	▲ 165
研究開発費	-	424	464	-	40

単体コメント

- ロート製薬と共同開発したナノレチノイド製剤の契約一時金が売上未達の為、未計上、及びロイヤリティ収入が減少したため減収。(40百万円)
- PC-SODの治験の症例集積が早期に終了したため、治験費用を前倒計上(65百万円)
- 減損損失の計上。(26百万円)

連結コメント

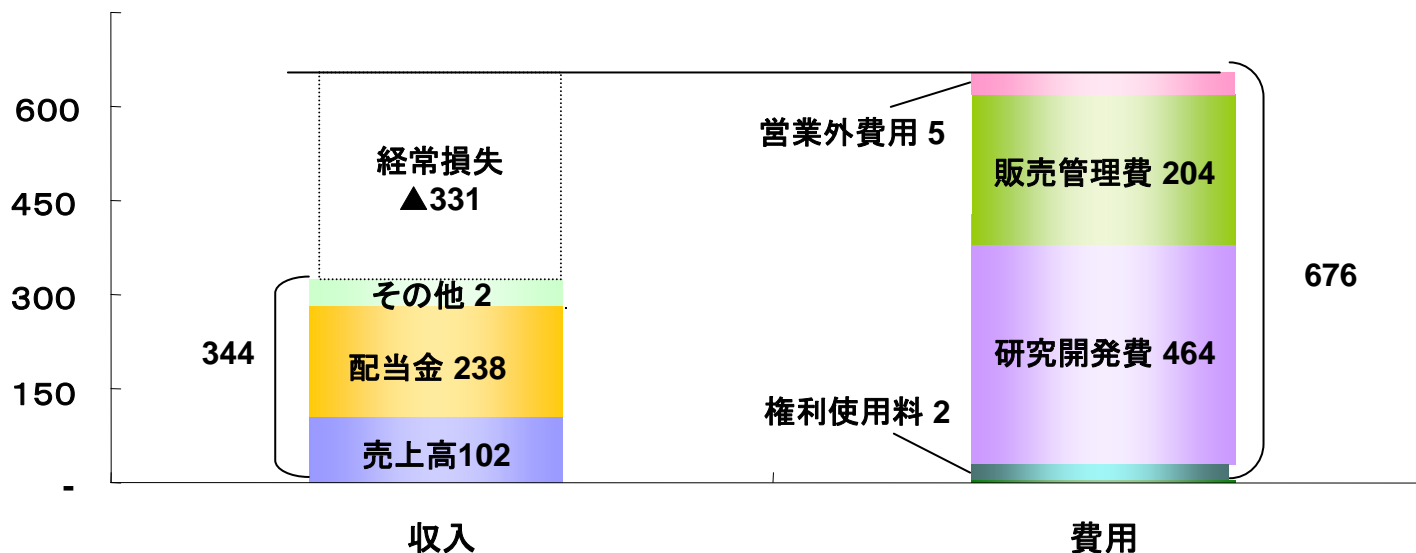
- 調剤薬局を営業する子会社(株式会社ソーレ)の売上は計画を達成
- 持分法による投資利益が計画未達成

※連結決算は06年3月期より開始

1-(2) 収益構造（連結）

(百万円)

単体



子会社

株式会社ソーレ

	06/3期	(百万円)
売上高	525	
経常利益	▲9	

※株式会社ソーレは、2006年3月期は4ヶ月決算

持分法適用会社

北京泰徳製薬有限公司

- 持分法による投資利益(営業外収益)により 82百万円を計上。

株式会社I&L

- 持分法利益(営業外収益) ▲7百万円を計上

1-(3) 貸借対照表(主要)

(単位:百万円)

	06/3末(連結)	06/9末(連結)	コメント
現金及び預金	3,032	1,486	定期預金預入、投信、関係会社貸付へ
売掛金	178	194	調剤薬局の売掛金
流動資産合計	3,354	2,303	
有形固定資産	18	6	
無形固定資産	135	112	のれん 110百万円
投資その他の資産	851	1,553	出資金 4億、投信 4億、定期預金 5億
固定資産合計	1,005	1,672	
資産合計	4,360	3,975	
買掛金	165	216	調剤薬局の買掛金
未払金	36	82	
短期借入金	0	0	
流動負債合計	303	341	
社債	600	0	転換社債の転換完了
固定負債合計	654	53	
負債合計	958	395	
資本合計	3,402	3,579	中間純損失、転換社債の株式転換
負債・資本合計	4,360	3,975	

※連結決算は06年3月期より開始

1-(4) キャッシュフロー

(百万円)

	06/3中間期 (単体)	07/3中間期 (連結)
営業活動によるキャッシュフロー	▲ 203	▲ 226
投資活動によるキャッシュフロー	8	▲ 1,372
財務活動によるキャッシュフロー	140	52
フリーキャッシュフロー	▲ 194	▲ 1,598

※連結決算は06年3月期下半期より開始

- 営業活動によるキャッシュフロー:税金等調整前中間純損失 ▲527百万円、売上債権の増加 ▲15百万円、利息配当金の受取 239百万円
棚卸資産の減少 15百万円、仕入債務の増加 50百万円、のれん償却 15百万円、減損損失 26百万円、持分法利益 ▲75百万円
- 投資活動によるキャッシュフロー:投資有価証券の取得による支出 ▲221百万円、有価証券の取得による支出 ▲499百万円、定期預金の預け入れによる支出 ▲ 500百万円、貸付による支出 ▲150百万円
- 財務活動によるキャッシュフロー:新株予約権行使による収入 52百万円

2-(1) 07/3期決算予想について

(百万円)

	06/3期実績 (連結)	07/3期計画 (連結)	06/3期実績 (単体)	07/3期計画 (単体)
	金額	金額	金額	金額
売上高	590	1,532	271	505
経常利益	▲ 287	▲ 334	▲ 308	▲ 307
当期純利益	▲ 298	▲ 340	▲ 300	▲ 335
研究開発費	565	821	565	821

➤ 収益について

リポPGE1製剤特許が07年1月に切れるためロイヤリティ収入は減少するが、現在前期第Ⅱ相臨床試験を実施しているPC-SODの契約一時金による収益確保を目指す。

➤ 費用について

PC-SODの開発費の増加を始め、研究開発プロジェクトの活性化のため研究開発費で821百万円、販売管理費で573百万円を見込む。

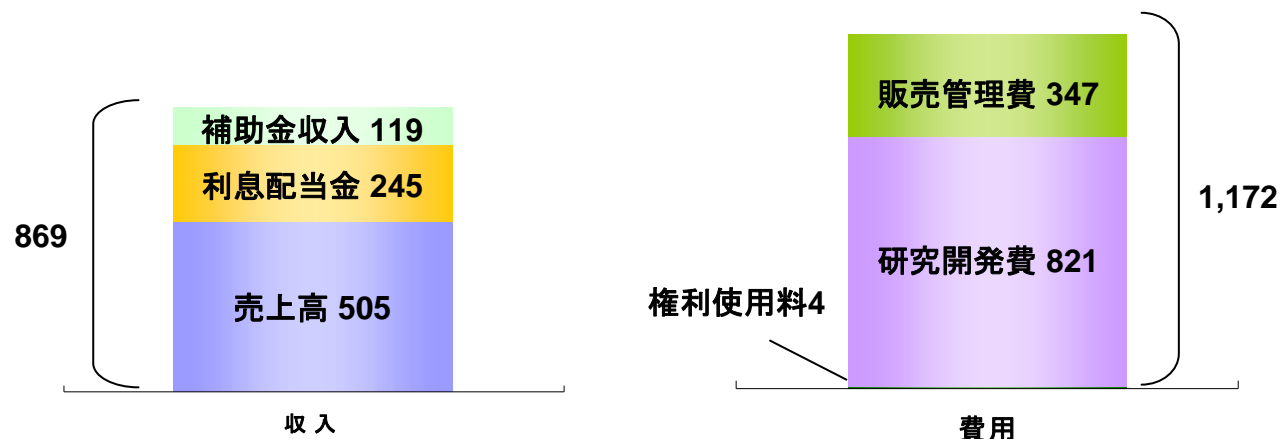
➤ 連結子会社について

株式会社ソーレの利益が通期で寄与(前期は4ヶ月分)

2-(2) 07/3期決算収入と費用構造(経常損益)

(百万円)

単体



子会社

株式会社ソーレ

(百万円)

	07/3期 (計画)	対売上高 比率
売上高	1,027	100.0%
経常利益	12	1.2%

持分法適用会社

北京泰徳製薬有限公司/株 I&L

➤ 持分法による投資利益(営業外収益)194百万円の計上を見込む。

- ① 北京泰徳製薬 194百万円
- ② 株 I&L Anti-Aging Management 0円



<http://www.ltt.co.jp/>

<お問合せ先>

株式会社 LTTバイオファーマ

経営管理本部 渡部

TEL: 03-5733-7391

FAX: 03-5733-7397

E-mail : ir-info@ltt.co.jp

当資料に記載された当社の現在の計画、見通し、戦略等のうち歴史的事実でないものは、将来の事業に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいており、顕在・潜在的なリスクや不確実性が含まれているとともに、経営環境の変化等の事由により予告なしに変更される可能性があります。

従いまして、これらの見通しに全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。